

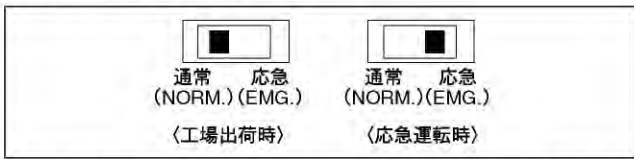
# [ 4 ] 応急運転

応急的な運転方法として、下記の3通りがあります。  
それぞれの使用目的に合った使い方をしてください。

	名称	用途	設定方法	動作				備考
				サーミスタ検知	保護装置作動	ファン	ドレンポンプ	
(1)	応急運転 (強制運転)	サービス時の強制運転	室内P板のSS1スイッチによる	×	×	○	○	温度制御はしません
			室外P板のDSスイッチによる	×	×	○	—	
(2)	試運転	据付施工後の運転確認時	リモコンの 点検/試運転 ボタンによる 室外P板の 試運転 ボタンによる	×	○	○	○	温度制御はしません
(3)	応急運転	ワイヤレスリモコンを紛失した時	室内パネルの「応急運転」スイッチを押す	○	○	○	○	リモコン伝送停止・ファン、ポンプ等のアクチュエータはON

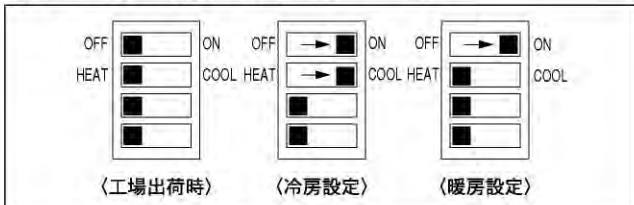
## (1) 応急運転(強制運転)の設定方法

- ① 電源をOFFにします。
- ② 室内P板のスイッチ(SS1)をNORM(通常)→EMG(応急)に切り換えます。

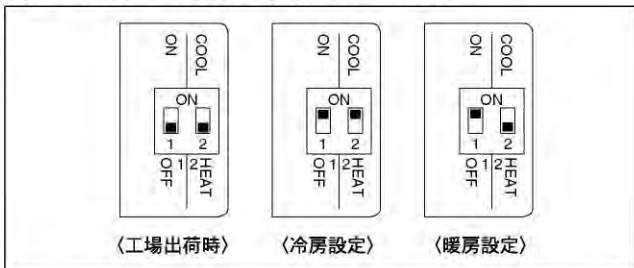


- ③ 室外P板のスイッチ(DS1)を下記に切り換えます。

<RZYP40 ~ 63, R(Y)P40 ~ 112>



<RZYP80 ~ 160, R(Y)P140・160>



- ④ 電源をONにすると、強制的に運転をスタートします。

### (注意事項)

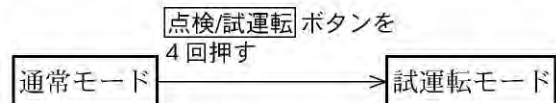
1. スwitchの切り換えは、必ず電源OFF状態で行ってください。
2. また通常運転に戻すときも、電源OFF状態で各スイッチを元に戻してください。
3. 応急運転中に保護装置が作動すると一旦停止し、3分後に再起動します。
4. P板不良のときは、応急運転はできません。

## (2) 試運転モードによる運転

試運転モードによる試運転には、次の2通りがあります。(内容詳細は「機能動作説明」欄を参照)

<リモコンによる場合>

- ① リモコンの点検/試運転 ボタンを4回押します。



- ② 試運転モード設定後に「運転/停止」ボタンを押すと、試運転を開始します。

<室外P板による場合>

- ① 室外P板上の「試運転」(BS4) ボタンを5秒間押します。しばらくすると、試運転を開始します。

### (参考)

- ・ 据付初回時は、強制冷房を3分間運転します。
- ・ 据付2回目以降は、設定モードで強制的に30分間運転します。

## (3) 室内「応急運転スイッチ」による応急運転

- ① 室内パネルの「応急運転」を押します。
- ② 停止するときには、もう一度「応急運転」を押します。

